

2024年 12 月
西東京市立碧山小学校
PTA 会長 桑原 千鶴

2024年度 臨時総会 議事報告
(2024 年12月 21 日)

1. 開会の言葉

ただ今より、令和6年度臨時総会を開会いたします。
出席者 38 名、委任状272名、計 310 名。対象世帯数の 2 分の1以上により、総会成立
を宣言いたします。

2. 議長選出

議事進行にあたり議長を、慣例により学校より岡本先生にお願いしたいと思います。
議長の方には、第 1 号議案、第 2 号議案をお願いいたします。
なお、書記には碧山小学校 PTA 小沼さん、中元さんをお願いしております。どうぞよろ
しくお願いいたします。

3. 会長挨拶(PTA 会長 桑原 千鶴)

それでは、次第に従いまして、2024年度会長、校長先生の順で、ご挨拶をお願いいた
します。

2024 年度 PTA 会長 桑原さんお願いします。

皆様、おはようございます。今年度会長を務めております、桑原と申します。本日はお忙
しい中、また年の瀬の忙しい時期に、そして休校明けにも関わらずご出席賜りましてあり
がとうございます。改めまして、本年度も PTA の活動にご理解、ご支援賜りまして感謝申
し上げます。

本日は臨時総会という運びになりまして、議案2つを提案させていただいております。
本日まで役員一同、また地区委員さんとともに、慎重に検討を重ねてきた内容となりま
す。なにとぞご審議の程、よろしくお願いいたします。

4. 学校長挨拶(稲富校長先生)

続きまして、稲富校長先生お願いいたします。

おはようございます。本校休校になりまして、子どもが大変苦しんでいる中、この会の実施
についても非常に厳しい中ですが、かなり重たい内容であるということで、今日実
施とさせていただいたところでございます。子どもが風邪をひくと教員もだめになってし
まうんだなということがよく分かった休校です。子どもが来ている間はやっぱり元気なん

ですけれども、水曜日あたりから1人また1人とですね離脱していった、私も木曜日にダウンという形になりました。医療機関にかかってもですね、受診できなかったような状況がこの碧山小のまわりで続いているという厳しい状況の中で、この会が開かれるといったことについてご協力いただきたいと思います。

これについて PTA の方から提案がありまして、今日の 1 号議案のところについて重要な意思決定をしたいとご相談をいただきました。校長として非常に悩みました。私が一番楽な方法は組織を変えないというやり方が一番楽です。けれどもこの判断をするのには、碧山小の子どもたちを見て判断をしました。

今回一番近い行事でいきますと、音楽会を実施させていただきました。今までの音楽会ですと、保護者の方に見ていただいて、子どもが十分活動して満足して帰っていただくと。このような行事ですから、ひとつ物事を取り組むとしたら、先生の方がどんどん引っ張って、子どもにやらせて保護者に満足していただくような流れが、本校過去にありました。ですが、今回は特に 5 年生 6 年生は自分達で音楽会に関連する絵を作りたい、音楽会の内容で一部内容は自分達で提案したい、といったところを子どもたちが高学年が特に出してくれました。このことは、今までこれでよかったじゃなくて、自分たちがこうしたいんだといったものを尊重していかなければいけないなということがありましたので、今回の 1 号議案の重たい内容についても、学校にご相談いただいた時には、できるところを提案させていただいたところです。

その点を踏まえまして、今日は慎重に、またもしかしたら大胆な判断になるかもしれませんが、碧山小の子どもたちのために何が一番いいのかを考えて、最後は議決していただければと思っております。どうぞご協力よろしくお願いします。

5. 議事

それでは以降の進行は、議長の岡本先生にお願いしたいと思います。岡本先生お願いいたします。

本日議長を務めさせていただきます岡本です。よろしくお願いいたします。
では目次に沿って進めてまいります。

第 1 号議案、今後の碧山小学校 PTA の在り方について桑原さんお願いします。

(PTA 会長 桑原 千鶴)

今後の碧山小学校 PTA のあり方について

1 提案の内容

令和6年度を持って PTA を解散し、令和 7 年度から学校が選出を行う保護者組織「学級代表委員制(仮称)」を新設する。こちらにはお示ししておりませんが、PTA の解散に伴い、下部組織となる地区委員も解散することとし、新設する保護者組織の中に役割を引き

継ぐこととする。

2 提案の理由

3つございます。

(1) 会員の減少

PTA が任意制となってから年々会員数の減少傾向が加速しており、今年度の加入状況は対象世帯約430世帯中、240 世帯にとどまっております。こうした流れをうけまして、6 月に意向調査を実施いたしました。こちらの説明に際しまして、説明資料(1)の意向調査報告をご覧ください。QR コードより意向調査の結果がご覧いただける形となっておりますが、お手元にデバイスをお持ちでない方には紙ベースのものをお配りできますので、今挙手でお知らせいただけましたら、紙ベースの物を配布させていただきます。ご希望の方いらっしゃいますか。

では、そちらをご覧くださいながら、説明を続けさせていただきます。

こちらの調査の中で質問5(PTA活動への来年度の関わり方)という項目において、「会員になる」と回答した割合は回答数の約54%(約185世帯)となっており、令和7年度もPTAを継続した場合は大幅な会員数の減少が見込まれます。さらに「会員になる」と回答した世帯のうち、「活動に積極的に関わりたい」と回答した世帯は回答数の16%(55世帯)に留まっていることから、今後は50世帯前後で運用できる組織を新設すべきであるという結論に至りました。

(2) 任意制度の矛盾

非会員を選択した後に学級委員の対象となり、学級委員に選出された場合は会員の個人情報扱うため、PTA への入会の必要性が生じるなど、制度上に矛盾があります。また、PTA がくじ引きの対象ではあるが、非会員を選ぶことができるのであれば、免除制度はどこまで適応すべきなど、クリアにしきれれておりません。こうした点に対する意向調査の中のご意見でも、PTA への問い合わせや疑問が多く寄せられた内容です。こうしたことから解決策がないまま役員や学級委員の選出を適正に実施することが極めて困難になっていくと思われます。

(3) 保護者を取り巻く社会情勢にあった組織の必要性。

意向調査の質問6(PTA 活動への来年度の関わり方についての理由)において、「仕事や家庭の事情で活動に関わる時間が捻出できない」という回答が229件で最多の割合を占めました。実際、今年度 PTA11名で活動に携わっておりますが、仕事や家庭、心身の健康維持と両立することが非常に難しいと実感しております。

意向調査の中でも、共働き世帯が増加する中で長きにわたり続いてきた PTA の体制が社会情勢に合っているのかというご指摘が多くありました。

令和6年度の PTA 保護者連合会と西東京市教育委員会との懇談会の場においても「PTA の担い手が減少する中で、組織運営をどうしていくべきか」という議題が上がりました。その際教育委員会からは「できる範囲のことをやっていくべきで、少しずつ形をかえ、ボランティアを募るような方向性に進むことが望ましい」という声かけがありました。

こうした3つの理由を踏まえ、今後は多くの保護者に寄り添う持続可能な組織作りを推進すべきであると考えております。

今後の来年度の保護者組織について学校より説明させていただきます。

(岩本副校長先生)

副校長の岩本です。いつもお世話になっております。ただいま会長の方から新組織についてのお話がありました。4ページをご覧ください。

まだ動かしてみないと分からないところがかなりあって流動的ですが、現在のところこの形でいこうかなと思っています。まず、学級代表委員を各クラスから1名ずつ選出をして18名、来年は18学級の予定ですので18名でやっていこうと思っています。その学級委員会の中から委員長を1名、副委員長を2名選出をして、分担をして下に書かせていただいているものを分担して行っていただきたいと思います。

こちらの方はどうしても切ることのできない西東京市との関わりのある仕事ですので、簡単に「なしにします」ということが難しいというのが現状です。動かしてみても、この人数じゃなくてもいいんじゃないかとか、この役割はいらないんじゃないかというのを来年精査させていただきたいと思っています。現段階で必要な役割ではないかここは考えています。人数比に関しても今の PTA の役員の方のご意見や地区委員会のご意見をいただいたものを元に、人数比もこのような形にさせていただいています。来年度は試しに1回やってみるという形になります。

その他、もう一つ学校ボランティアというものがあります。こちらは来年度の始めに、学校のボランティアをやっていただける方という形で、すぐ一環のチャンネルに新しくそちらを登録しようかなと思っています。ご希望いただいた方に、人材バンクじゃないんですけど、そういった形で、学校応援団みたいな形でそういうようなものを作って、必要に応じて、学校の方からお手伝いいただける方という形で、登録いただいた方にメールが届くようにしたいと思います。例えば「運動会の受付で何名位必要なのですがご協力いただける方いませんか」という形でアンケートみたいなものを出して、それを返信いただいて、その方をお願いをするという形になります。こちらはまだ来年度から始まることなので、どの位の希望者がいてというのは読めないところはあるんですけども、一度そういう形でやってみようと思います。保護者のご協力が難しいというところに関しては、学校の教員で回せるように行事を縮小したりだとか、これだけ広げようと思ってたところをこれだけにしようとか、持続可能な形を探していったりだとか、というふうな形で負担の少ないような形でやっていきたいと思っています。

一応「希望を募って活動する」という4点書かせていただいています。もしかしたら来年度また変わるかもしれません。3つ主に書かせていただいたのが、「運動会等の学校行事での受付」「芝刈りなどの芝生管理」「育成会行事でのお手伝いなど」その他というのは学校で必要に応じて、こういったところでお手伝いいただけますかというようなものを流していこうと思っています。

学級代表委員さんに関しては一年間をかけて左側のところを分担して行っていただきたいというふうに考えております。提案については以上です。

(PTA 会長 桑原 千鶴)

同じページの補足の説明になりますが、免除制度につきましてはここにお示ししてある通りで提案しております。

3つございます。PTA 役員経験者、地区委員の三役経験者(会長、副会長、書記長)は兄弟姉妹間も含めて卒業まで永久免除。2つ目、令和6年度地区委員経験者(三役以外)は令和7年度に限り免除。3つ目、学級委員経験者は対象児童が卒業まで免除という内容で今後は継続を提案させていただいております。

実際にそちらに書いてある人数ですとか、会議の数がどのくらいの軽減になるのかというのが思い描きづらいかもしれないんですけども、例えば今 PTA 役員、地区委員、学級委員等々で、60名程度が仕事を担っている中で、そちらが18名になること、それから各種今申し上げた役員等は月1回の定例会議に加えて、自分の担当する会議に月1回程度参加しているので、月2回程度の会議が年間続くので24回程1年で会議に参加しているのが、そちらに書いてある分担をして担当することによって年数回の会議に留まることができるという形になります。

質疑応答に入らせていただきます。何かご質問のある方はいらっしゃいますか。

質問:次年度に向けて色々検討を重ねていただけてきたところで、説明ありがとうございました。やるべきことはやることと、お手伝いのところは方向性としてはすぐーるに登録された方をお願いするということでしたが、人材バンクに登録していないで突然手をあげた方も入れるのですか。

回答:(岩本副校長先生)人材バンクに入られていない方が突然「やりたい」という時にはもちろん大歓迎でやらせていただきたいと思います。ただお手伝いのお知らせに関しては、人材バンクに登録いただいた方に向けて「運動会でこういうお手伝いを募集しています」というお手伝いのお知らせの情報に関しては人材バンクに流しますが、それを伝え聞いて私もやりたいというのであれば、学校に直接ご連絡いただければ対応するようにしたいと思います。

それでは第 1 号議案についてご承認いただける方は拍手をお願いいたします。

第1号議案について拍手で承認。

第 2 号議案、PTA 会費の運用について桑原さんお願いします。

(PTA 会長 桑原 千鶴)

それでは5ページをご覧ください。PTA 会費の運用についてというページをご覧ください。提案の内容です。

PTA 会費の令和7年度への積み立て残高については、碧山小学校の教育基金として運用を引き継ぐ。説明資料、臨時総会会計報告を会計担当の石井より説明させていただきます。

(PTA 会計 石井 タ起子)

説明資料、臨時総会会計報告については、PTA 会計石井からご報告、ご説明させていただきます。

まず収入の部についてですが、今年度の総収入は 466,633 円になります。この収入は主に会費、吹奏楽部からの寄付、前年の繰り越し分となります。

次に2支出の部についてですが、詳細は記載させていただいた通りとなりますが、本総会前時点で 179,670 円の支出がありました。こちらは事務緒費、地区活動費、慶弔見舞金、PTA 保険費で使用いたしました。

今後、令和 6 年度末までに見込まれる支出としては、167,767 円を予定しており、予算通り事務緒費、運営活動費、卒業関連費、非常時用保存品費、育成会協賛費で使用させていただきます。

現在の残高についてですが、今年度の繰越金予定は 119,196 円、定期預金積み立て残高としては 780,241 円となります。この繰越金と積立金については、5で記載させていただいておりますが、学校側と協議のうえ学校に必要な物を寄贈し、残りを基金として学校側に引き継ぐことを提案させていただいております。寄贈予定品としては、学級数分のワンタッチタープテント、基金予定額としては 692,437 円の予定となります。

以上で、臨時総会の会計報告を終わります。

質疑応答に入らせていただきます。

質疑・応答なし。

それでは第2号議案についてご承認いただける方は拍手をお願いいたします。

第 2 号議案について拍手で承認。

これで 2024 年度臨時総会の議事が承認されました。

6. 議長解任

以上を持ちまして、議長を解任させていただきます。ご協力ありがとうございました。

7. 閉会の言葉

以上で予定していた項目は終了となります。

これを持ちまして、2024年度臨時総会を閉会いたします。

本日はお忙しい中お集まりくださり誠にありがとうございました。

以上